

【目的】

生物多様性に富んだ里山環境を再生し、地域の方々に**SDGsを踏まえた環境教育の場**を提供することで持続可能な企業として発展していく。

【ビジョン】

- ・ **生物多様性**にあふれた環境整備
- ・ 安全に活用でき、自然を感じられる里山づくり

【内容】

- ・ 里山環境の調査
- ・ 里山の生物多様性の確保 (整備)
- ・ 教育林としての里山の活用

調査 (資源情報・状況)

【植物調査】

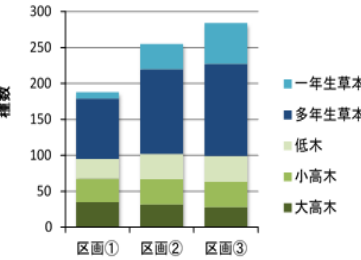
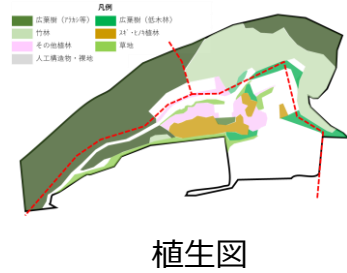


図3-3 各区画の生活型による区分別確認

貴重種



【動物調査】



森林荒廃



活用 (環境教育・発信)

環境教育プログラム
植物：タケノコ、野草など
昆虫：カブトムシなど



タケノコ掘り



昆虫観察



防災植物



標本作製

発信・協力
土佐生物学会など発表
牧野植物園 (標本提出)



社内展示



学会発表



標本提出

管理・整備 (環境保全・改善)

環境保全・改善
植生管理
水循環システム



倒木伐採



草地維持



竹林管理



排水蒸発散

木質バイオマスの活用へ



バイオマス発電



木質ペレット